

尾高タクシー 運行・利用状況調査結果概要

2017. 1. 31

名古屋大学 加藤博和

① 運行状況

※乗務員、車両台数については変動的であり、この限りではない

- ・乗務員 16 名、車両 15 両（実際には 11 両が稼働）
- ・菰野地区：8 両。基本的に菰野駅で待機。7～24 時
- ・湯の山区域：3 両。基本的に湯の山温泉駅で待機。7～17 時
- ・稼働状況は日によって変化するが、通常は昼間帯（10～17 時）がフル稼働。朝は 7～9 時台で徐々に増加。夜は 21 時まで昼間帯よりやや少なく、それ以降は徐々に減る。
- ・7 時台は前日までで予約が埋まり、当日予約は困難
- ・午前中は 10～20 分待ちになることがある。足りなくなるのは 1 週間に 1 回程度
- ・帰りは家族等の送迎が多いため、タクシーの利用は多くない。
- ・22 時以降は足りなくなる時がある。
- ・実車率は 30～40%
- ・電話で依頼を受ける際行先は聞かない。したがって（回送が長くても）短距離を断ることはない。

② 利用状況

- ・移動手段を持たない高齢者、特に女性が多い。
- ・比較的、同じ方向、同じ時刻の利用は多い。
- ・1 乗車平均運賃 1,700 円程度
- ・菰野町が障がい者に出している 650 円の補助券は、月 20 万円程度の利用がある。

③ OD（起終点）・・現在、一部データでの集計結果であり、暫定的な見解

- ・菰野駅は乗車 1 位（全体の約 2 割）だが降車はその半分。逆に駅以外の菰野地区は乗車より降車の方がやや多い。（2～3 割）
- ・次に多いのは千種地区。菰野駅一地区との行き来が多い。工業団地利用が目立つ。
- ・あと目立つのは商業施設。
- ・かもしか号利用が多い朝上は、タクシー利用は少ない。（長距離で運賃差が大きいいためか？）
- ・大羽根園は発着合わせて 1 日 10 人弱。川北は 2 人弱。